

令和8年度事業計画

I シルバー人材センターを取り巻く情勢と事業運営の基本方針

日本でシルバー人材センター事業が始まって半世紀が経過しました。この間に日本の65歳以上の高齢者人口は、50年前の4倍、3,600万人を超えました。人口減少、少子高齢化が進行する中、労働力不足や物価高騰などの影響もあり就労を希望する高齢者の数は増加しています。一方で65歳までの雇用確保措置の進展などにより、全国のセンターの会員数は減少傾向にあり、会員の平均年齢も75歳を超えるまでになりました。経済情勢のみならず、ここ数年の各種制度改正により、センターを取り巻く環境はいつそう厳しさを増しています。そのような中であっても、多様な就業機会の提供や、高齢者のいきがづくり・社会参加の場としてのシルバー人材センターへの期待は、揺るぐことはありません。

今後、センター事業を持続的に発展させていくためには、会員数を拡大していくことが必要です。令和8年3月末の会員数は2,963人と、目標には達しなかったものの前年度を上回り、増加傾向が継続しています。昨年11月に600名以上の皆様にご参加いただいた「シルボンヌ全国大会2025 in みやぎ」の勢いに乗り、女性会員の拡大を中心に、引き続き会員数の拡大に努めてまいります。

また、契約金額についても、昨年度は初めて12億円を超え、目標数値を達成いたしました。新年度も軽作業チームの取り組みや、ワンコインサービス事業など、多様な就業機会の提供と受注拡大に向けた取り組みを強化してまいります。

令和8年度からは当センターも「新たな契約方法」に移行することとなります。発注者への丁寧な説明に努め、会員が安心して就業できる環境の整備を進めてまいります。

長年にわたり会員の自主的な活動の受け皿となってきた地域班につきましては、令和9年3月末をもって廃止することとなりました。高齢者の生きがいに係る意識の変化や、就業以外の活動を望まない会員の増加などにより、会員の地域班への関心・必要性が薄れてきている状況から、これ以上地域班体制を維持することは困難であると判断したものです。令和8年度は、社会貢献活動の継続や、会員相互の交流・情報交換の場の確保など、地域班の皆様から提示された課題について、対応策の検討を進めてまいります。

今般、センターの使命や目指すべき方向性を明確にし、将来にわたり必要とされるセンターを構築すべく、新たに「中期経営方針2026」を策定いたしました。

令和8年度の事業実施に当たっては、本年度の重点目標を定め、目標数値を明確にした上で、「中期経営方針2026」に掲げる「めざすべき4つの方向性」に沿って、分野ごと各種施策に取り組みます。

＜中期経営方針2026に掲げるめざすべき4つの方向性＞

1. 就業による高齢者の生きがいの充実を推進します
2. 地域社会のニーズに応え、地域社会の活性化に寄与します
3. 会員の主体的な参画による組織運営をめざします
4. 持続可能なセンターの運営を図ります

II 取り組みの重点目標

- 女性会員のさらなる拡大と退会抑制に取り組み、会員拡大に努めます。
- 地域における新たな社会参加活動の体制の推進を図ります。
- 認知症に関する正しい知識と理解の促進に努めます。
- デジタル化による事務の効率化を推進し、費用削減に努めます。
- 新たな契約方法への移行を適切に進め、経営基盤の強化を図ります。

III 目標数値

会員数	3,100名	(令和7年度実績	2,963名)
粗入会率	0.91%	(令和7年度実績	0.88%)
契約金額	12億3千万円	(令和7年度実績	1,218,204千円)
就業率	77.0%	(令和7年度実績	72.5%)

(シルバー派遣事業含む)

IV 実施項目

方向性1 就業による高齢者の生きがいの充実を推進します

分野1-1: 入会促進・会員拡大に努めます

センターの魅力を高め、女性会員のさらなる拡大に重点的に取り組むとともに、入会しやすい仕組みづくりや退会の抑制、関係機関との連携による入会促進活動を推進し、会員拡大を図ります。

- ★ 女性会員の拡大に向けた施策展開
- ★ 入会しやすさの向上
- ★ 会員継続を促進する取り組みの強化

【8年度の主な実施項目】

- ・入会説明会および新入会員研修会の改善・充実 **NEW**
- ・WEB入会の利便性向上と効果的なPR方法の検討 **NEW**
- ・入会促進につながる一般市民向けの参加型イベント・講習会の開催
- ・会員継続を図る魅力的な研修会等の開催
- ・健康に関することなど会員に有益な情報の提供
- ・SNS等を活用したセンター事業や会員の活動情報の積極的な発信
- ・ハローワーク、宮城県シルバー人材センター連合会等と連携した入会促進活動

分野 1-2：受注拡大・多様な就労開拓に努めます

会員が有する知識や経験と地域企業等のニーズを把握し、受注拡大に向けた就業相談会の企画や就労開拓に努めるとともに、軽作業チーム等の体制の充実を図り、これまでの働き方の継続が難しくなった会員にも、負担の少ない就業機会を提供できるよう取り組みます。

- ★ 企業向けの就業相談会等の企画
- ★ 年齢がいくつになっても活躍できる体制・環境の推進
- ★ 会員の経験を活かした就業体制の強化

【8年度の主な実施項目】

- ・事務業務の受注拡大（派遣含む）を図る企業向け就業相談会の企画
- ・トライアル就業による新たな就業先の開拓 **NEW**
- ・会員が有する知識や経験を活かした就業体制の強化 **NEW**
- ・軽作業チームの安定運営に向けた体制の検討
- ・ワンコインサービス事業の拡大の検討
- ・企業統計データの分析に基づく重点職種等の把握および効果的な PR 方法の検討
- ・介護事業所等の周辺業務の拡大
- ・後継者育成（職群班）を目的とした未経験者への作業体験会の開催
- ・生涯現役サポートセンターとの連携

分野 1-3：安全・適正就業の推進を図ります

安全対策のより一層の推進を図り、重篤事故、傷害事故の撲滅及び健康の確保を図り、繰り返し発生している損害賠償事故の防止策を検討します。また、就業形態の把握や基準の見直しを行いながら適正就業の推進に努めます。

- ★ 安全就業の徹底
- ★ 会員の健康維持・増進
- ★ 適正就業の推進
- ★ 災害時における対応の検討

【8年度の主な実施項目】

- ・類似する損害賠償事故の再発防止策の検討 **NEW**
- ・安全と健康に関する講演会の実施
- ・安全就業の確保および就業の適正化を目的とした巡回指導の実施
- ・Smile to Smile 等を利用した事故の周知および情報共有
- ・防災研修の実施、安否確認の在り方の検討
- ・就業に関連する規程やルール等を周知する研修会の実施 **NEW**
- ・健康に関することなど会員に有益な情報の提供（再掲）

分野 1-4：認知症に関する正しい知識及び理解の促進に努めます

関係機関と連携し、認知症に関する正しい知識および認知機能の低下に関する理解を深めるための研修等に取り組みます。

- ★ 関係機関との連携による研修体制の構築
- ★ 認知機能が低下しても活躍できる環境の検討

【8年度の主な実施項目】

- ・関係機関と連携した共同研究の継続
- ・認知機能の低下に関する理解を深める研修等の実施 **NEW**

方向性 2. 地域社会のニーズに応え、地域社会の活性化に寄与します

分野 2-1：地域社会（高齢者・子育て世帯）からの支援ニーズに応えます

今後、地域社会からの需要が高まる福祉・家事援助サービスなどについて、仙台市等と連携を図りながら PR 方法など取り組みを強化し、就業機会の拡大につなげていきます。

- ★ 地域社会のニーズに対応した就業体制の強化
- ★ 福祉・家事援助サービスの充実
- ★ 空家管理業務の推進

【8年度の主な実施項目】

- ・軽作業チームの安定運営に向けた体制の検討（再掲）
- ・ワンコインサービス事業の拡大の検討（再掲）
- ・仙台市と連携した空家管理業務及び家事援助サービス業務のPRの強化

分野 2-2：人手不足分野を中心に地域社会（事業者）からの人材ニーズに応えます

統計データの活用により、人手不足である業種や企業等について分析・情報を収集し、人材ニーズに応えます。

- ★ 企業データの分析による就業先の開拓
- ★ 人手不足企業への派遣や協業の推進

【8年度の主な実施項目】

- ・トライアル就業による新たな就業先の開拓 **NEW**（再掲）
- ・会員が有する知識や経験を活かした就業体制の強化 **NEW**（再掲）
- ・企業統計データの分析に基づく重点職種等の把握および効果的なPR方法の検討（再掲）
- ・介護事業所等の周辺業務の拡大（再掲）
- ・生涯現役サポートセンターとの連携（再掲）
- ・仙台市やハローワーク、宮城県シルバー人材センター連合会等の関係機関との連携

分野 2-3：サービス水準の向上を推進します

就業に必要な技術・技能の向上および後継者の育成に取り組むとともに、センターの仕組みへの理解を深め会員として自覚をもって就業できるよう研修会を実施します。あわせて、信頼の確保と継続的な受注につながるサービス水準の向上を図ります。

- ★ 会員の資質向上

【8年度の主な実施項目】

- ・就業に必要な技術・技能向上を目的とした研修会の実施
- ・会員の資質向上を目的とした研修会の実施
- ・後継者育成（職群班）を目的とした未経験者への作業体験会の開催
- ・就業に関連する規程やルール等を周知する研修会の実施 **NEW**（再掲）

分野 2-4：社会参加活動の推進を図ります

地域社会の一員として地域とのつながりを大切にし、信頼される存在となることを目指して引き続き地域貢献に取り組むとともに、今後を見据えた新たな体制づくりの構築に努めます。

- ★ 地域社会との信頼関係の確立
- ★ 地域社会に貢献できる新たな体制の構築

【8年度の主な実施項目】

- ・地域貢献活動の新たな体制の検討 **NEW**
- ・地域における効果的な情報発信の検討 **NEW**
- ・区民まつりや市民センターまつり等への積極的参加

方向性3. 会員の主体的な参画による組織運営をめざします

分野3-1: 会員自身が従来以上にセンターの事業に積極的にかかわれる方策を検討します

「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域班体制の廃止後の新たな活動の仕組みを構築し、会員が地域で活動しつつセンター事業にかかわれる方策について検討します。

★ 会員の自主的な活動を推進する新たな体制の検討

【8年度の主な実施項目】

- ・会員の自主的な活動を支える新たな仕組みづくりの検討 **NEW**
- ・会員のセンター事業への参画意欲を高める方策の検討 **NEW**
- ・地域貢献活動の新たな体制の検討 **NEW** (再掲)
- ・軽作業チームの安定運営に向けた体制の検討 (再掲)
- ・ワンコインサービス事業の拡大の検討 (再掲)

分野3-2: 会員によるセンター事業運営参画を推進します

会員による事業運営参画を積極的に推進するとともに、業務および組織体制の強化を図ります。また、制度の変革及び新たな契約方法への適正かつ円滑な移行について、十分な周知に努めます。

- ★ 理事会、各委員会・部会等への会員の参画を推進
- ★ 制度の変革についての周知

【8年度の主な実施項目】

- ・各種委員会・部会間の情報共有
- ・新たな契約方法への移行についての周知
- ・社会環境の変化等についての周知

方向性 4 持続可能なセンターの運営を図ります

分野 4-1：効率的な運営に努めます

センターの事業運営を適切に遂行するため、職員のスキル向上を目的とした勉強会や研修を行い、社会情勢や制度の変化に対応しながら事業の推進に取り組みます。

- ★ 法令の改正や新たな制度への適切な対応
- ★ 職員の資質向上

【8年度の主な実施項目】

- ・ I Tを活用した新たな契約方法への適切な移行 **NEW**
- ・ 公益法人制度改革による新制度への適切な対応
- ・ 経営力向上研修等の実施

分野 4-2：デジタル化を推進します

新たな契約方法への適切な移行を軸として会員専用サイトの利用促進をさらに図ることで、会員のデジタル技術の積極的な活用を推進します。あわせて、業務の効率化及び経費の削減に努めるとともに、会員がデジタル技術を理解し、適切に活用できるよう、デジタル化を推進します。

- ★ 継続した会員のデジタル化の促進
- ★ I Tを活用した事務効率化・経費削減の推進

【8年度の主な実施項目】

- ・ Smile to Smile のさらなる利用促進
- ・ Smile to Smile 等を利用した事故の周知および情報共有（再掲）
- ・ WEB入会の利便性向上と効果的なPR方法の検討 **NEW**（再掲）
- ・ 会員向けスマホ教室およびサポート窓口の実施
- ・ スマホを活用した業務連絡等による事務の効率化
- ・ I Tを活用した新たな契約方法への適切な移行 **NEW**（再掲）
- ・ 郵送文書のデジタル化の検討

分野 4-3：安定的な財務基盤の構築に努めます

職員の経営意識を高めながら、業務の効率化や費用削減に引き続き取り組み、財源の確保に努めます。また、制度の変更を適切に理解し、新たな法制度に対応することで、安定した運営を目指します。あわせて、国及び仙台市への支援要請を継続して行います。

- ★ 事務の効率化
- ★ 費用削減の取り組み

【8年度の主な実施項目】

- ・ I T を活用した新たな契約方法への適切な移行 **NEW**（再掲）
- ・ 公益法人制度改革による新制度への適切な対応（再掲）
- ・ 経営力向上研修等の実施（再掲）
- ・ 郵送文書のデジタル化の検討（再掲）

分野 4-4：センターイメージの向上に努めます

より効果的な広報活動の検討を行うとともに、ホームページ及び SNS を活用して会員の活動状況を積極的に発信し、センターへの理解の促進を図り、魅力的なセンターをアピールします。

- ★ より効果的な広報手段によるセンターの PR 方法の検討
- ★ S D G s への積極的な取り組み

【8年度の主な実施項目】

- ・ 新たな広告掲載媒体の検討 **NEW**
- ・ S N S 等を活用したセンター事業や会員の活動情報の積極的な発信（再掲）
- ・ 地域における効果的な情報発信の検討 **NEW**（再掲）
- ・ S D G s の積極的な情報発信